

全国9工科大の学生が、宮島町家の課題解決策を探る —  
工大サミット連携 PBL を実施します

学校法人鶴学園 広島工業大学（所在地：広島市佐伯区三宅 2-1-1）は、全国の私立9工科大学（愛知工業大学、大阪工業大学、神奈川工科大学、芝浦工業大学、東北工業大学、福井工業大学、福岡工業大学、北海道科学大学および本学）からなる「工大サミット」参加大学と連携し、PBL（課題解決型学習）を実施しています。

今年は9大学51名が参加し、宮島にある伝統的な木造建築「宮島町家」の保存と活用に向けた提案を、廿日市市役所の職員に対して行います。

### ■目的

本取組は、地域社会に貢献できる理工系人材の育成を主な目的としています。学生が地域の課題に主体的に向き合い、実践的な学びを通じて課題解決能力や協働力を養うことで、将来の技術者・研究者として成長することをめざしています。

特に、広島県の歴史的建造物である「宮島町家」の保存と活用というテーマを通じ、地域資源の価値を再認識するとともに、持続可能なまちづくりに寄与する力を培います。

また、「工大サミット」に参加する全国の工科大学の学生が一堂に会し、意見を交わし協働することで、互いの知見を共有し合い、広い視野とネットワークを持つ次世代の理工系人材の育成にもつなげています。なお、本取組は今年で4回目を迎え、継続的な実施により、教育的効果と地域連携の深化が進んでいます。

### ■「工大サミット連携 PBL」概要

- 日程 2025年9月2日（火）～4日（木）
- 内容 

【9月2日（火）】 場所：宮島商工会館、広島工業大学 沼田キャンパス

  - ・現地調査
  - ・調査テーマの話し合い
  - ・班別フィールドワーク
  - ・沼田キャンパスにて課題発見・発表準備 など

【9月3日（水）】 場所：宮島商工会館、広島工業大学 沼田キャンパス

  - ・課題発表とフィードバック
  - ・現地調査 など

【9月4日（木）】 場所：広島工業大学 五日市キャンパス

  - ・廿日市市役所職員に向けた最終報告会とフィードバック
  - ・ポスターセッション など
- 参加者 広島工業大学 学生 30名  
工大サミット参加8大学（愛知工業大学、大阪工業大学、神奈川工科大学、芝浦工業大学、東北工業大学、福井工業大学、福岡工業大学、北海道科学大学）21名  
合計：51名

## ■過去の「工大サミット連携 PBL」の様子



2024年度は合宿形式で実施



学生はいくつかの班に分かれて課題に取り組む



現地調査に出かける様子



考えたプランが実現可能なのかを町家で確認



全員で話し合いを重ね、よりよいプランにブラッシュアップ



新設された宮島訪問税の使い道として町家を改修した島民も使いやすい休憩所の設置を提案する班も

## ■取材について

9月4日(木) 12:00~13:00に、学生への取材が可能です。なお、最終報告会は同日 13:15~15:10に実施いたします。取材をご希望の方は、9月3日(水) 17:00までに、下記連絡先までご連絡くださいますようお願いいたします。

内容に関する各種お問合せ	TEL : 082-921-4120 (直通) 担当 : 学長室 重丸	E-mail : president.office@it-hiroshima.ac.jp
取材に関する各種お問合せ (取材の申し込み先)	TEL : 082-921-3128 (直通) 担当 : 広報部 石田	FAX : 082-921-8946 E-mail : kouhou@tsuru-gakuen.ac.jp